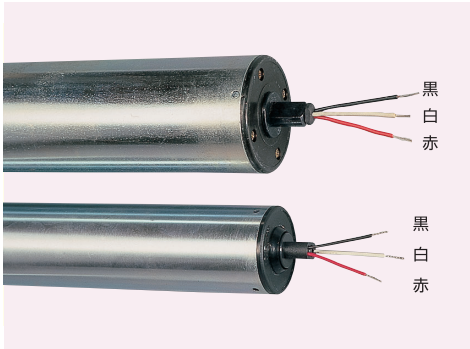
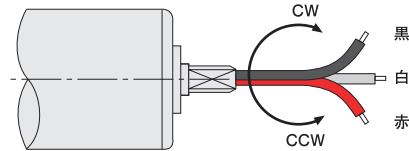


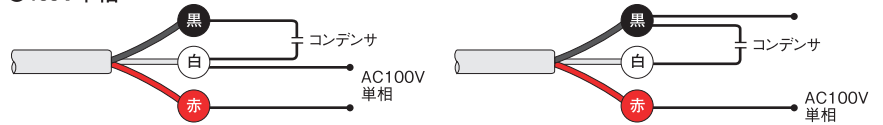
配線例



・モーターラの給電側のリード線は黒(白)赤の3線です(但しブレーキ仕様、またはPSS-E:ドライブ・フリータイプは5線です)。3本のリード線の内2本の線を入れかえることにより、回転方向を変えることができます。多数のモーターラを使用する場合、リード線を全て同一に結線すると回転方向が同じになります。



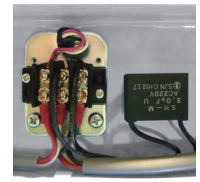
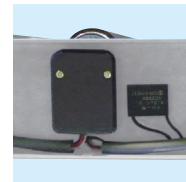
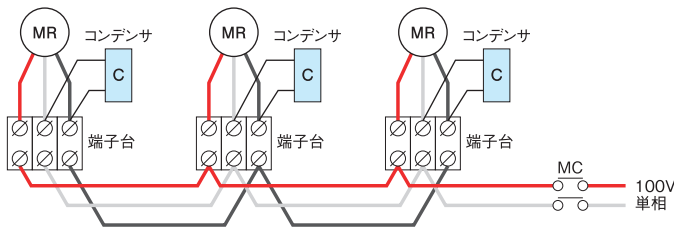
●100V単相



※回転方向を逆にする場合は、図のように配線を入れかえてください。

・防塵、防滴、防水、ブレーキの各仕様およびPSS-E:ドライブ・フリーの場合は、下記の配線例、結線方法とは異なります。詳細は弊社営業部までお問い合わせください。

100V単相 配線例 (コンデンサ外部取付け)



付属のコンデンサをフレームもしくは配線盤に取付けてください。

注) ① 100V単相標準仕様のモーターラコンベヤ全般に適用します。

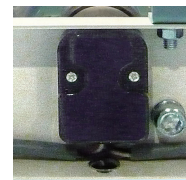
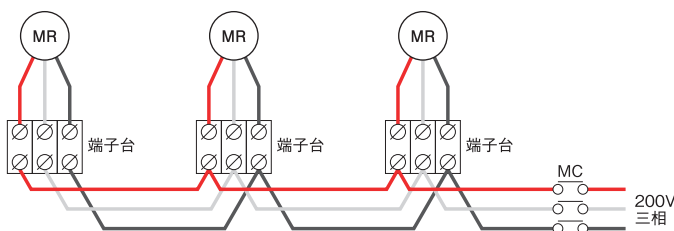
② コンデンサは端子台横に両面テープにて貼付けます。

③ 渡り配線ケーブルはSVCT0.75Sq*3Cを使用しています。

④ PSP等 φ42.7の場合はMAX.40本まで、PSS等 φ57の場合はMAX.20本まで渡り配線が可能です。ただし、1系統当りの総延長距離は60mまでとします。

⑤ 渡り配線一次側で可逆運転する場合、1本が故障するとコンデンサのバランスが崩れ他のモーターラの故障を誘発したり、回転不良が発生しますのでご注意願います。

200V三相 配線例



注) ① 200V三相標準仕様のモーターラコンベヤ全般に適用します。

② 渡り配線ケーブルはSVCT0.75Sq*3Cを使用しています。

③ PSP等 φ42.7の場合はMAX.40本まで、PSS等 φ57の場合はMAX.20本まで渡り配線が可能です。ただし、1系統当りの総延長距離は60mまでとします。

④ インバータを使用する場合はMCをインバータとしてください。